

Marimba Recital

(公財) 青山音楽財団助成公演

打楽器界の巨匠に初演を託されたマリмба奏者

岡村彩実 マリンバソロリサイタル

米国、ヨーロッパでマリンバによる多種多様な表現を学び、
生命のいとなみを感じさせる音楽を追い求めてきた岡村彩実の渾身の心の声。

記憶の中の情景

The Scenes in Your Own Heart

アストゥリアス

アルベニス (Isaac Albéniz) 作曲

マリンバの為のトッカータ

イグナドヴィッチ (Anna Ignatowicz) 作曲

子供の領分

ドビュッシー (Claude Achille Debussy) 作曲

ノクターンへ短調

チェン (Pius Cheung) 作曲

シヤコンヌ

"無伴奏ヴァイオリンソナタ第2番 短調" より

バッハ (Johann Sebastian Bach) 作曲

チャーリー チャップリン

フリッドマン (David Friedman) 作曲

ワン ラスト ブレス (日本初演)

ストウト (Gordon Stout) 作曲

ソロマリンバの為のソナタ (世界初演)

クラッツォウ (Peter Klatzow) 作曲

Ayami Okamura

7.28 2019 日

14時開演 (13時30分開場)

会場 京都・青山音楽記念館 (パロックザール)

入場料 前売り 一般：2,500円 学生：1,500円
当日 一般：3,000円 学生：2,000円

※未就学児の入場はご遠慮ください

チケット販売 青山音楽記念館 ☎075-393-0011
チケットぴあ ☎0570-02-9999 (Pコード 145-137)
セブンイレブンでも購入可
Email (岡村彩実) ayamiokamura.marimba@gmail.com

お問い合わせ 青山音楽記念館 ☎075-393-0011 〒615-8282 京都府京都市西京区松尾大利町 9-1

記憶の中の情景

The Scenes in Your Own Heart

打楽器は原始時代から人類の生活に深く関わり、交感、交信し合う言語であって、様々な感情を表現する手段でもありました。その中で木の板をランダムに並べ、ひょうたんを共鳴管としてリズムをきざむアフリカの楽器・バラフォンは、奴隷制度のもとでアメリカ大陸に渡り、人々の嘆きや喜び、あらゆる感情を代弁しながら、時々の文化や人々の生き様を吸収してマリンバという楽器になりました。ソロのクラシカル楽器として歴史の浅いマリンバは、根本的なルールや概念が確立されていませんが、感情を表現する言語であったその特性から、多くの可能性を持つ魅力的な楽器といえます。

私はアメリカ・ヨーロッパにおいて、異なった文化や宗教で育った人々と関わり、ともに演奏し、マリンバと打楽器による多種多様な表現を学びました。それらの日々は、時代や民族の深い部分を見つめながら生命のいとなみを感じて演奏することの意義を見出させてくれました。今回のプログラムは、様々な国の作曲家による作品、バロックから現代曲、更に編曲作品からマリンバオリジナル作品まで、多彩な楽曲で構成しました。

リサイタルでは、リズム・メロディー・言語・文化の融合楽器であるマリンバの力強くも繊細な音で、人々の心にある心情・記憶の一つ一つを音楽に紡ぎだしていきます。

作曲家からのメッセージ

デイビッド・フリッドマン

国際的ジャズピラフォン奏者兼作曲家
ベルリン芸術大学(ドイツ)ジャズ学部創設者・元学部長

彩実には楽譜から予想される音の可能性をはるかに超えて作品を解釈し、作曲家の意図を音にすることが出来る才能あふれるマリンバ奏者です。彼女は彼女特有の技法、知識、感情を融合させ、聴衆に特別なメッセージを送り届けることでしよう。

ピーター・クラッツオウ

国際的作曲家、ケープタウン大学(南アフリカ)作曲科教授
ケープタウン大学南アフリカ音楽学校元ディレクター

「ソロマリンバの為のソナタ」の世界初演を行う特権を岡村彩実に与えることは私にとって大きな喜びです。彼女は大変すぐれた演奏家であり、この作品に大きく貢献するでしょう。私は、彼女の演奏がこれからこの作品を演奏していく奏者としてのスタンダード(演奏模範)になることを望んでいます。

ゴードン・ストウト

国際的マリンバ奏者兼作曲家
イサカ大学(米国)打楽器科元教授

岡村彩実は深遠な音楽表現力を持つ貴重なマリンバ奏者です。作曲家でありマリンバ奏者である私にとって、私が全霊を込めて作曲した曲を彼女が日本で初演するという事実は非常に喜びです。彼女の素晴らしい演奏と音楽を愛と優しさで受けとってください。

Marimba Recital Ayami Okamura



岡村 彩実

京都市出身。2014年京都市立芸術大学音楽学部打楽器科を卒業後に渡米。2016年ボストン音楽院修士課程マリンバ科を修了、2017年プロフェッショナルディプロマ課程を修了。2017年10月からデトモルト国立音楽大学修士課程打楽器科に籍を置き、ヨーロッパを中心に演奏活動中。ドイツ、デトモルト在住。イタリア国際打楽器コンクールマリンバ部門優勝、世界的打楽器メーカーAdams社より特別賞を授与される(2015年)。ボストン音楽院のコンチェルトコンペティションにて優勝、最優秀演奏者となる(2014年)。日本国内では、万里の長城杯国際音楽コンクール(2011年)、日本クラシック音楽コンクール、大阪国際音楽コンクール(2012年)など受賞歴多数。

2015年ブルース・ハンゲン氏指揮によるボストン音楽院オーケストラとの共演を機に、プロの音楽家として演奏活動を始める。ゲストアーティストとして、ゴードン・ストウト リサイタル(2015年)、ボストン国際ギターフェスティバル(2015年)、ゼルトスマン国際マリンバフェスティバル(2015年、2017年)、トロンプ国際打楽器コンクールセミナー ボストン(2016年)、南カリフォルニアマリンバコンサートシリーズ(2016年)、ドイツのポップム・ルートリーナー文化フェスティバル(2018年)、クワアチアのサモボル音楽フェスティバル(2019年)などから招聘。

ソロ活動の他、マリンバ・ヴァイオリンデュオ「MixUs」、打楽器デュオ「Shiki」、打楽器カルテット「Marimba Four Hands」、打楽器アンサンブルグループ「Legare Incontro」のメンバーとしてもヨーロッパ、米国、日本国内で多数コンサートに出演。「Shiki Percussion Duo」によるマリンバ即興演奏の参考音源が米国ボストンコンバース社より、またソロ演奏によるスザンヌ・シェパード作曲「マリンバソロの為の組曲」がCD Baby、iTunes、Spotifyより配信中。2018年 打楽器界のレジェンド、デイビッド・フリッドマン作曲の打楽器5重奏曲「テルミー ア ストーリー」、マリンバソロ曲「チャーリーチャップリン」のレコーディングに参加。

これまで共演した作曲家はアンドリュートーマス、ボウル・ランスキーなど、打楽器、マリンバ奏者はジュリー・スペンサー、アーノルド・マリニセン、サミュエル・ソロモン、ナンシー・ゼルトスマン、イバナ・ビリッチ、三村奈々恵など。またギタリストのエリオット・フィスク、チェリストのアレクサンダー・ゲバート、ヴァイオリニストのトーマス・クリスチャンとも共演。日本マリンバメーカー株式会社おろぎ社、米国マイクバルター・マレット社契約アーティスト。

オフィシャルホームページ www.ayamiokamura.com

バロックザール
Barocksaal
京 青山音楽記念館
200席の室内楽専用ホール



〒615-8282
京都府京都市西京区松尾大利町 9-1